

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2002.11.29 No.42

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

No.42



秋色に染まるキャンパス中庭

CONTENTS

産学連携共同研究センター

燃料電池ラボと東芝IFCとの共同研究

世界の工場へ

変貌する中国 澤岡 昭学長

ゴビーの散歩道

実験の散歩道 市川武久講師

国際交流

海外留学 大嶋和彦助教授

新刊著書を語る

キャンパスライフ

TOPICS

環境デーなごや2002中央行事参加

アンテナ

冠映画試写会

絵本の朗読とお話し

新任教員 / 退任教員

INFORMATION

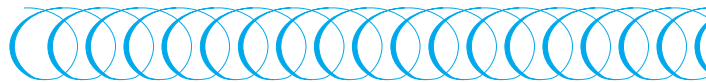
季刊

大同工大キャンパス



秋季号 2002
NOVEMBER

11



燃料電池ラボと東芝IFCとの共同研究



機械工学科 教授
堀 美知郎

NEDOの推進する固体高分子形燃料電池開発に参画

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の研究資金を受けて、産学連携共同研究センター燃料電池ラボラトリー（ラボ長：堀美知郎機械工学科教授）と東芝インターナショナルフュエルセルズ株式会社（東芝IFC）との共同研究で固体高分子燃料電池（PEFC）の研究開発プログラムに参画することになりました。

本学のPEFC委託研究費は単年度55,624千円、3年計画で1億5千万円余におよぶ大型研究プロジェクト。21世紀の燃料電池の開発動向について、堀美知郎機械工学科教授から紹介して頂きました。

21世紀の燃料電池の開発動向

1. 化石燃料からの脱出

1774年のワットの蒸気機関の発明を引き金にして湧き起った産業革命は人々の生活を大きく変えた。当時、蒸気機関のエネルギー源は石炭であった。1909年にヘンリー・フォードがガソリン自動車の量産に成功すると、自動車は大衆の中に普及し始めた。自動車の普及は、エネルギーの主役を石炭から石油へと変えた。しかし、このように人類に豊かさをもたらした化石燃料を基盤とした文明は、地球の環境に異変をもたらした。その一つが、二酸化炭素に代表される温室効果ガスによる地球温暖化現象である。温室効果ガスの増加により、地球全体の平均気温は、21世紀末には産業革命以前に比べ4 から5 も上昇すると考えられており、こうした気候変動が人類社会に及ぼ

す影響が大きな問題となっている。

地球温暖化と石油の枯渇を考えると、21世紀のエネルギー源を、二酸化炭素の排出量が多い石炭や石油から、二酸化炭素の排出量の少ない天然ガスや、二酸化炭素を全く排出しない風力、水力、地熱、太陽光や太陽熱、バイオマスと言った「再生可能エネルギー」へと移行させる必要がある。この再生可能エネルギーによって得られた電気で水を電気分解して水素を得る。この水素を燃料電池に供給すると発電が可能となり、クリーンな水のみが排出されるシステムが構築できる（図1）。21世紀半ばには、石炭、石油に続く第三のエネルギー源である水素の時代が到来すると考えられている。

2. 水素エネルギー社会への推進役を担う燃料電池

しかし、こうしたクリーンな水素エネルギー社会の構築には、社会の中に各種の水素インフラを整備することが不可欠となる。更に、この水素をどのように「作り、輸送し、貯蔵する」のかと言った技術的な課題を解決することも必要となる。一方、燃料電池は水素を燃料とすることで非常に高効率な発電を実現できる装置である。その意味で、燃料電池こそが化石燃料を中心としたエネルギー社会から水素エネルギー社会への推進役を担う技術であると言える。

こうした水素は化石燃料からも取り出せる。それ故に、燃料電池は水素のみならず化石燃料を使っても発電が可能である。この点からも燃料電池は化石エネルギー社会から水素エネルギー社会への橋渡し役を果たす技術とも言える。



図3 ダイムラー・クライスラー社の燃料電池自動車

3. 燃料電池が高効率である理由

図2に、火力発電などの熱機関による発電と、燃料電池による発電のエネルギー変換を対比して示す。火力発電の場合、石油や天然ガスと言った燃料のもつ化学エネルギーを熱エネルギーと運動エネルギーを経て電気エネルギーに変換する。幾つものプロセスを経て電気エネルギーを得るため途中のロスも多く、高い効率を得るには不利である。一方、燃料電池の場合は燃料のもつ化学エネルギーを直接電気エネルギーに変換することができる。このため、燃料電池による発電は、高いエネルギー変換効率が期待される。

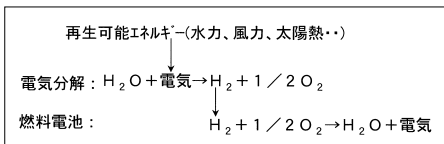


図1 再生可能エネルギーによる水素製造と水素を燃料とするゼロミッション発電

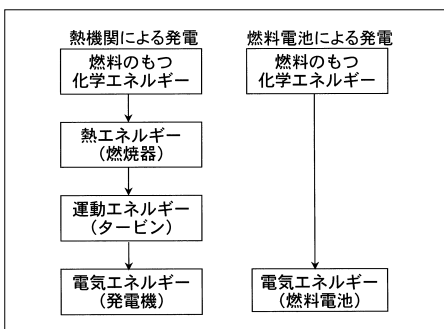


図2 熱機関と燃料電池のエネルギー変換の比較

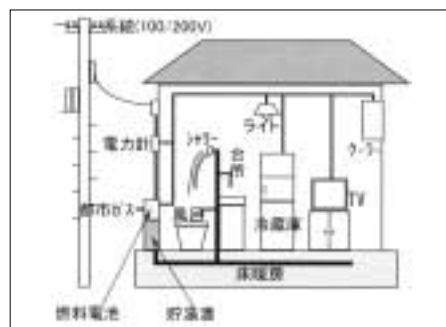


図4 家庭用コージェネレーションシステムの一例

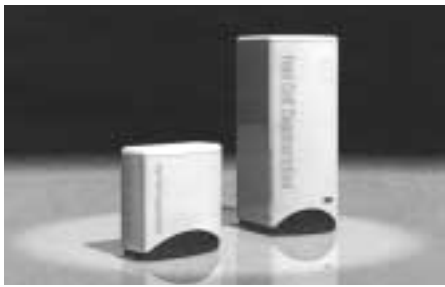


図5 1kW級家庭用PEFCシステム(東芝IFC)

4 燃料電池の開発動向

(1) 燃料電池自動車

現在、多くの企業が開発にしのぎを削る燃料電池は、固体高分子形燃料電池(PEFC)である。こうしたPEFCが非常に注目されるのは、環境性に優れた電気自動車用電源として大きな市場の可能性を秘めているからである。その火付け役は、ダイムラー・クライスラー社の前進であるダイムラー・ベンツ社であった。1997年、同社が、2004年までに燃料電池自動車(FCEV)を市場投入すると発表したことで(図3)GM、トヨタを始め内外の幾つかの自動車メーカーも2000年代初頭の市場投入の意向を明らかにし、開発を加速し始めたのである。燃料としては、水素も用いるとの見方が体勢を占めるようになった。

ただ、こうした自動車用燃料電池に対する開発課題も多い。システムの軽量・コンパクト化、水を多く含む電池本体の氷点下での凍結防止や高温下での高分子膜の強度低下と言った環境適合性、高温での化学反応を伴う改質器の始動性や過渡応答性、そして、定置用に比べ10分の1程度にまで低減する必要のあるコストなどである。

(2) 家庭用コージェネレーションシステム

PEFCの用途は、自動車用だけではない。各家庭に一台のPEFCが設置されることで、電気インフラに変化をもたらす可能性もある。図4、図5は、1キロワット級PEFCを家庭

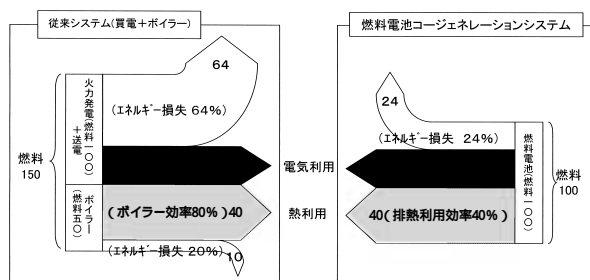


図6 家庭用コージェネレーションと従来システムとの効率比較

に導入した場合のコージェネレーションシステムの一例を示す。燃料電池はベースロードとして使用し、家庭の電力使用量がピークを迎える時

間帯にはシステムの電気も併用する。燃料は、都会では都市ガスを、地方ではLPGを使用することになる。PEFCからの排熱は70程度であり、貯湯槽に貯めた温水を風呂、台所、更には床暖房に供給する。図6に、PEFCを用いた家庭用コージェネレーションシステムの効率と、系統から電気を買ってボイラーでお湯を沸かす従来システムの効率とを対比して示す。同じ量の電気エネルギーと熱エネルギーを得る場合、従来システムに比べて燃料使用量、すなわち二酸化炭素排出量を最大30%程度削減できる。

こうした家庭用コージェネレーションシステムの事業化に向け、国内では、松下電産、東芝IFC、三洋電機といった電機メーカーが開発を急いでいる。耐久性、信頼性およびコストにおいて課題を残してはいるが、厳しい開発競争を勝ち抜いて、2005年ごろから量産化を開始する会社も出てくると考えている。

(3) 業務用電源システム

既述の北米で開発が進む数キロワット級システムは、日本国内においては業務用電源として市場に導入される可能性が高い。導入時期は、2005年ごろと考えている。

この燃料電池をレストランに設置すれば、発電で得られた電気で照明を賄い、得られた温水で食器を洗うことができる。業務用コージェネレーションシステムであり、高い総合効率が期待される。

コンビニエンスストアの非常用電源としても有効である。今やコンビニエンスストアにはPOSやATMが設置され、終夜にわたり停電を嫌う。通常時には店内の電気使用量をバックアップし、停電時には無停電電源の役割を果たす。一石二鳥の役割を演じることが出来る。

ガソリンスタンドに燃料電池を設置すれば、ガソリンや灯油から得られた水素によって



図7 DMFCの期待される幅広いアプリケーション

発電が可能となる。震災時には、燃料電池で発電した電気とクリーンな生成水を地域住民に供給できる。燃料電池を備えたガソリンスタンドは、震災時には広域避難場所へと一変する。ガソリンスタンドの安価な灯油は燃料として魅力はある。

5 .DMFCの開発動向

固体高分子形燃料電池に、燃料として液体のメタノールを供給しても発電することができる。これを直接メタノール形燃料電池(DMFC)と呼ぶ。液体の燃料を用いることができ、PEFCに比べシステムはコンパクトになる。図7に、DMFCの幅広いアプリケーションの将来性を示す。DMFCの開発は、米国のロスアラモス国立研究所が早くから手がけてきた。近年、このロスアラモス研究所とモトローラ社は、ラップトップコンピューターなどの携帯電源用に2.5センチメートル四方、厚さ2.5ミリメートルのDMFCを開発したことを報道した。最近では、国内外の多くの電機メーカーが開発に着手しており、携帯用やモバイル用としての商用化も近いかも知れない。

グローブ卿が酸素と水素を反応させて電流を得る実験に成功してから2世紀近くが過ぎたこの21世紀は、石炭や石油に続く第三のエネルギーである水素の時代と言われている。そして、水素を燃料とすることで非常に高効率な燃料電池は、20世紀後半の半世紀にわたる長い開発の歴史を経て、この21世紀において商用化に向け大輪の花を咲かそうとしている。

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
：我が国の石油代替エネルギーの総合開発を主業務とする機関として、第2次石油ショック直後の1980年10月に政府及び民間の資金と人材、技術力を集結して創設された。1988年10月に産業技術の研究開発を業務に追加し、我が国の産業技術政策の中核的な実施機関として、今日まで幅広い分野で業務を推進している。



世界の工場へ

変貌する中国

学長 澤 岡 昭

学長に就任してから、外国旅行がめっきり少なくなった。担当していた宇宙プロジェクトの仕事で、1985～88年ごろは、年10回程度の外国出張が当たり前の時があった。今では、最も大学の行事の少ない、9月上旬に、年一度だけリフレッシュのため、学外資金を利用して外国に出ることに努めている。

昨年は、同時テロの前日にニューヨークを出て、カナダ・ケベックでの国際会議に出席することができた。今年は、平穩無事に中国・敦煌(とんこう)での会議に出席して帰国することを期待していた。しかし、そうはゆかなかった。中国地方都市の病院の裏舞台を少しだけ、垣間見る結果となった。

遂に国外の自動車産業へ 投資を始めた中国

10月12日、日本経済新聞の一面に、「中国最大の乗用車メーカー、上海汽車が韓国新会社に投資」という記事を見て、遂に来るべきものがきたと感慨新たであった。新会社資本の10%、金額にして70億円と大きな規模ではないが、いつも外国資本をあてにしてきた中国の逆襲の第1歩である。この会社には韓国銀行グループが33%、アメリカ最大の自動車メーカーGM(ジェネラルモーター)が42%、日本のスズキが15%、中国が10%の出資する。この新会社は韓国で小型自動車を生産して、中国へ輸出する計画だ。

早速、インターネットでYahooを検索してみた。今年8月末の中国の外貨準備高は2500億ドル、約30兆円である。日本は世界最高額の4600億ドルであるが、現在の勢いからすれば、中国が日本を追い抜くのは、そう遠い日のことではないだろう。今、世界の金は中国に流れ込んでいるのだ。

中国の人口は13億人、日本の約10倍である。国民の収入は驚くほどの格差がある。中級技術者で比べると、上海や北京などの大都市では年収30万円程度、内陸部の小都市では12万円程度である。中都市のホテルの従業員で8万円程度である。内陸部の

農家の収入は驚くほど低く、年収数万円で貧困に苦しんでところが多い。

中国人の平均年収は日本の20分の1以下であるので、中国で同じ品質のものが生産されると、多少生産能率が低くても、日本は中国に太刀打ちできるはずがない。中国は世界の工場としての成長が余りにも早く、技術分野の指導者の人材不足が深刻である。外国にいる中国人研究者、技術者の数は40万人であり、中国政府は好条件で帰国を呼びかけている。

工業化の進展とともに、製品に占める人件費の割合が高くなるのは当然のことであるが、中国は人口が極端に多く、工場働くことを希望している労働者が多くいるので、労働者の収入が日本の数分の1程度になるのは、まだまだ先のことであろう。

最近、中国において高品質の工業製品が多量に生産されるようになってきている。それは日本を初めとする進出した外国企業の技術を中国人技術者が素早く吸収し、消化した結果である。私の古くからの友人であるトヨタ系列の部品メーカー幹部が、中国進出にあたり、「高品質の部品を能率よく生産するラインを中国に築いて、一時的に利益をだしても、いずれは何かの理由で、中国から締め出される日が必ずくるとを思うと、夜も眠れない」と真意を漏らしたことがある。本当だと思う。何時、中国の政権が変わって、外国資本が締め出されるか、何の保証があるわけではない。

現在、我が国の製造業が雪崩をうったように、生産拠点を中国に移している。最大の理由は、高品質のものを低いコストで生産できるからである。日本最大のものづくり地域である中部から、続々と中国へ生産拠点が移転している。それが、この地域の大学への製造業からの求人減少している大きな理由の一つとなっている。

中国は激しく変化しており、実態を知るためには4ヶ月ごとに訪問する必要があると言うビジネスマンがいるほどだ。20年以上に亘って、私は多くの中国人研究者と交流してきた。しかし、長い間、中国を訪問したいと思いつながら、なかなかその機会はやってこなかった。

私の最初の中国訪問は8年前の北京であった。2回目が4年前に西安であった。いずれも学会出席が主な目的であった。それでも、変化する中国を肌で感じることができた。本年9月には、敦煌と西安を訪ねた。短い時間であったが、今度は意識して、中国内陸部の経済と生活の変化を観察することにした。

黄沙にまみれて

5月頃、日本各地に砂埃(すなぼこり)が部屋の中まで侵入して、実験室の中まで汚れることがある。指でなぞってみると、この砂埃は実に細かな砂の粒子からなっていることが分かる。この砂粒子は中国の砂漠から、



偏西風に乗ってやって来たので、黄砂と呼
ばれている。日本だけではない。韓国の黄
砂の被害も相当なものである。当然、中国で
の被害はもっと深刻である。

黄砂はチベットの北側のタクラマカン砂漠
が主な供給源である。かつて、ヨーロッパと
中国を結ぶシルクロードと呼ばれる交易路
があった。ローマと当時の中国の都長安を
結ぶシルクロードは、タクラマン砂漠を避け
るように北路と南路に分かれ、敦煌（とんこ
う）で合流する。砂漠の部分だけで1500km、
さらに敦煌から東の長安、現在の西安まで
は直線距離で1500kmである。

古代日本の政治や文化は中国の影響を
大きく受けた。飛鳥時代、奈良時代、平安時
代の朝廷は、中国の政治文化を吸収するた
めに、260年の間に17回使節団を送った。そ
れが遣唐使である。1000年以上も前に、長
安に多くの日本人が到達している。彼らはそ
こでシルクロードを経由して到来した、西洋
文明にじかに触れたはずである。

シルクロードや敦煌とその名を聞いただ
けで、多くの日本人は遠い古里を想うよう
なノスタルジーを感じさせることであらう。私
も長い間、敦煌を訪ねたいと憧れていた。そ
の訪問の機会が今年9月に訪れたのだ。

大砂漠の東に位置する敦煌は乾燥した
砂埃の街であった。郊外の道路を走る車は
もうもうと砂煙を上げる。今年の春は特に
ひどい黄砂の年で、舞い上がった砂煙で、太
陽の光が遮られて、昼なのに数時間、真っ
暗になった日があったと現地の人から教
えてくれた。敦煌は周辺を含めると15万人、中心
部には5万人が住んでいる。近くの高山から
流れ出る雪解け水を町中へ引き込んで、ポ
プラやざくろなどの果樹がとれる木などを植
えて、砂埃を押さえる工夫をしているが、そ
れでも、少し街を歩くだけで、身体はすぐ
に砂だらけになる。

十数年前に、日中合作映画「敦煌」を撮
影するために造られた、古代の長安を再現
した城が敦煌郊外にあり、観光名所になっ
ている。日本人撮影隊員は毎日宿舎に帰る
と目薬をさして、目から砂を洗い出すのが
日課であったと俳優の渡瀬恒彦は書いている。
砂埃との戦いは現地を訪れてみて、その凄
さが想像できる。シルクロードの旅は、渴
きとの戦いだけでなく、砂埃との戦いであ
ったと思う。

敦煌で学会を

宇宙の無重力場で物質や材料を合成し
たり、流体物理現象に関心をもつ研究者が
集まって学会をつくった。これが日本マイ
クログラビティ応用学会であり、発足は1983
年であった。この学会の会長として、私が日
中共同ワークショップの開催を提案したの
が、1993年のことであった。94年、第1回日
中ワークショップが北京で開かれた。それ
以降、ほぼ2年ごとに中国と日本で開催が
くりかえされている。このワークショップは
三国際会議のようなものと考えてよい。

第2回は96年、東京で開催された。98年
に西安で開かれた時、4年後には敦煌で開
催してほしいと、パーティの席上、私は酒の
勢いもあって希望を述べた。

敦煌は日本人の誰もが行きがっている
場所であり、中国人でも、こんな機会がな
ければ、なかなか行けないはずだと演説し
た。それが、実現したのだ。この会に私が
欠席したら、それこそお笑いものだ。

日本と中国からそれぞれ、約40人が出
席した。過去、最大の規模になった。おま
けに、その直前に、ドイツと中国の共同
ワークショップが同じ場所で開かれ、日中
ワークショップ第1日目の夕方には、中国、
ドイツ、日本の関係者が出席するパーティ
がもたれた。懐かしいドイツの研究者と
思いつくせいで、この日は、中独ワーク
ショップの翌日で、ドイツ人は夕方観光
ツアーから戻り、我われとパーティで合
流した訳であった。

一過性全健忘症

ワークショップ第3日水曜日、午後5時
30分に会合終了、直ちに会場からバスで
20分の町はずれの鳴砂山へ移動した。高
さ100～200mの砂丘が続く、観光地であ
る。歩くと砂がキュキュと鳴ることから、
この名が付けられた。

ゲートから、砂丘のふもとまで1kmを
ラクダで移動、往復30元(480円)。もち
ろん歩きもOK。得がたい経験であるから
30元は高くないが、ここで働く人たち
にとっては、月給の10分の1という、目
の玉が飛び出るほどの値段なのだ。

この日は夕方から雨が降り、砂はぬ
れており、鳴らなかった。1年に2～3度
しか降らな

い雨であった。砂丘に着くと、元気な者
は急傾斜を一気に駆け上る。いつもなら、
率先して駆け上がる私は、濡れるのが
いやで同僚のはしゃぐ様子を下の茶屋で
眺めていた。

ラクダでゲートにもどると、大阪から
きたA教授がきょとんととして、「どうして
澤岡先生がここにいるの?」「僕はどうし
こににいるの?」と私に聞いてきた。変だ
な。しばらくして、また同じことを聞く。
彼はどうして中国にいるのか、本当に分
からない様子であった。大騒ぎになった。
笑い事ではない。A教授は最近まで、学
会長であった流体物理の研究者である。

バスがホテルに着くと、直ぐに救急車
を呼ぶことにした。日本国籍をとったば
かりの中国系Y博士と宇宙開発事業団に
来ている中国人R博士と一緒にあったこ
とが幸いであった。

北大I教授は、かつて同じような症
状で、数日後に本格的な脳梗塞が起きて、
亡くなった上司と様子が良く似ていると
言った。私にも心当たりがあった。脳梗
塞の前触れであると判断して、脳の断層
写真が撮れるCTを持っている病院に行
ってほしいと救急隊員に伝えてもらった。
Y博士が同行した。

夜10時過ぎに、ワークショップの
中国側責任者と病院に行った。市医
院(敦煌最大の市立病院)であった。A
教授は、酸素吸入と点滴を受けており、
CTの検査結果を待っているところであ
った。院長も来ており、5分ほど救急
担当医とCT写真を見ていたが、異常
は見つからなかった。依然として、記
憶は戻らない。ただし、記憶が抜けて
いるのは、ここ数日分のものであった。
日曜日に関西空港を出発して以降を
憶えていないようだ。

医師も脳梗塞を心配している様子であ
った。24時間は目を離さないようにとの
ことで、中国系のY博士とR博士には
交代で別室に控えてもらい、ベットの
側には、日本人がつくことにした。A
教授の入院後直ちに、連絡網をつ
くっておいだったので、まず、学生時
代、早稲田大学探検部で活躍した若い
S博士に付き添いを依頼し、私はホテ
ルに帰った。病室の壁の一面はガラ
ス張り、向うの部屋は医師や看護士
の部屋であった。

翌朝、6時に交代要員としてO博
士を連れて、病院に行った。当人は寝
ていたが、気配に目を覚ました。閑
空出発や初日に務めた座長などを思
い出し、快方に向かっていることが
分かった。昨夜、日本のA教授夫人
に電話をして、最悪の場合、すぐ中
国に行くつもりを伝えるように伝え
たので、彼女は

一睡もできなかったであろう。直ぐに、快方に向かっていることを知らせなければと思った。私はホテルにもどり、電話の後にワークショップに出席した。

夕方になっても、彼はどうしても前日のことは思い出せなかった。午後にもう一度、CT検査、異常なし。CTのみで1回約3万円。中国の公立病院としては異常に高い。しかし、幸いにも旅行保険が掛けられていたので、金の心配はない。元アメリカ駐在員の経験のある、宇宙開発事業団のM氏が北京にある日本の保険会社事務所との連絡担当を引き受けてくれた。

CTの結果は異常ないが、もう数日は要観察との診断であった。帰国は翌日に迫っている。本人は、置いていかないと不安気であった。私は翌日、西安に移動して、西北工業大学のW教授に会う約束であった。さらに一日遅れて、土曜日に北京に移動し、一泊して東京へ帰る宇宙開発事業団グループに彼のことを任せることにした。

翌土曜日10時に、再度の検査、静かに移動することを条件に退院が許され、A教授は病院から、空港へ直行し、北京に1泊した。日曜日に西安から北京経由で成田へ移動する私とA教授は、北京空港で再開することができた。北京から関空へ移動する日本人グループに、A教授を任せて、彼が発った1時間後の便で成田へ帰国した。

関空にはA教授夫人、息子が迎えにきており、翌日、大阪の脳・血管専門の国立病院で精密検査を受けたが、異常は見つからなかった。ただし、3週間経過観察との診断であったとのことであった。大学の前期の成績評価を残してきたA教授は、病室へ資料とパソコンを持ち込み、インターネットを使って、連日病室で仕事をしたようである。病名は一過性全健忘症、結局、空白の1日を思い出さぬまま、10日ほどで退院したとのメールが本人からきた。しばらくは無理をしないでもらいたいものだ。

西安で考えたこと

西安は昔、長安とよばれた中国の首都であった。京都と姉妹都市、人口は都市部280万人、郊外を入れると600万人、名古屋をやや大きした規模の都市である。

わずか2泊の滞在であったが、西安ではいろいろと考えさせられた。2度目の訪問であったので、余裕があったからかも知れない。

空港から遠く、しかも交通渋滞で、ホテルに到着したのが、午後7時過ぎであった。荷物はバスに持ち込まず、トラックに積み込み、部屋に配達されたのが11時を過ぎていた。中国らしいのんびりした配達に腹は立たなかった。

8時に地元の西北工業大学応用物理学科主任のW教授が夫人とともにホテルの迎えにきてくれ、夕食の接待があった。敦煌ではA教授の記憶喪失事件で、疲れて果てており酒の回りは速かった。

食事の後で、町の中心部にある鐘門近くのイスラム系住民の町を歩いた。夜10時過ぎても、貧しいが活気ある通りであった。シルクロードを辿ってイラン、トルコなど多くのイスラム諸国から沢山の人が中国に移住した。何百年も、千年も前のことである。彼らは今では立派な中国人である。中国が共産主義国家となり、宗教が否定された時代でも、イスラム文化と習慣は力強く生き残っていた。文化大革命時の宗教弾圧にも耐えた。

西安の中心部にはビルが立ち並び、道路も整備され、4年前に見た西安と比べ物にならないほど近代化が進んでいた。あの時は、クリントン大統領が訪問するというので、道路と両側の建物の化粧が突貫工事で行われていた。高価なパリやミラノに本店をもつブランド品の店が並んでおり、一体誰が買うのか疑問であったが、成金が多く誕生しており、商売が結構成り立っていると後で聞いた。どう見ても、中国は、少なくとも商業に関しては、自由経済の国だ。行ったことがないが、現在の上海の賑わいは世界中どこにもないほどだと聞いている。中国の共産主義はどこへ行ってしまったのか。

敦煌でのワークショップで感じたことは、若い中国人研究者の勢いであった。かれらの発表はすべて、OHPではなくパワーポイントを見事に使いこなしたものであった。50歳以上の古い中国の友人たちは、相変わらず下手な英語でたどたどしい発表であったが、若い研究者達は全く別人であった。

若い研究者のほとんどは、アメリカで博士号の学位をとっており、アメリカ仕込みのプレゼンテーションは、どこの国際会議に出しても通用するものであった。文化大革命を知らない世代の台頭である。

文化大革命は中国の何もかもを破壊し、中国を何十年も後戻りさせた悲劇であった。文化大革命は1966年から約10年間続いた。そのころ20歳代後半から30歳代前半の人々

は、私と同じ世代である。私と同世代の中国の研究者たちはほとんど例外なく、暗い過去をもっている。文化大革命を知らない若い力によって中国は急速に変わっている。

30歳代が最も活きが良いように見える。私を西安で待ち受けた西北工業大学のW教授は30歳代後半であった。中国の新産業の主役は30歳代というのは、言い過ぎかもしれないが、間違いなく40歳未満の中国人は昔の中国人とは違うと云って間違いはないだろう。

西安には総合大学の長安大学を始め、多くの大学があり、学生たちはより高収入の仕事を得るために、実に良く勉強している。特にコンピューターを利用した設計技術、ソフト開発の技術者は引く手あまたである。西安の企業に就職した後、腕が良いと評判が立つと給料3~5倍で上海の企業に引き抜かれるので、良い技術者の定着率が低いことが地元企業経営者の悩みのものである。

以上、わずかに目に付いた少くのことを強調して書いた部分がないでもないが、驚くほど中国が変わりつつあることは間違いのない。今、中国はバブル経済に突入したところである。バブルは必ずはじける。沿岸部と内陸部の異常なほどの経済格差、人件費の急騰、若い世代と古い世代の意識の違いなどによって中国に大混乱がやってくると予言する数多くの書籍が出版されている。確かに中国のアンバランスには驚かされた。

人口300万人の大都市西安であっても、土木工事現場にはブルドーザーやパワーシャベルのような工事機械はほとんど見当たらない。人海戦術で工事が行われている。機械化すれば、失業者がさらに増加するので、土木機械はほとんど必要ないのかも知れない。

都会の若者のほとんどは、1ヶ月分の給料を投じて、最新型の携帯電話を購入し、路上でうれしそうにやたらと連絡をとりあっている。何をしゃべっているのやら。

笑ってばかりはいられない。アンバランスなのは日本も同じなのだ。我が国の異常な部分に気がつくことなく、自分たちだけの世界に満足していることが恐ろしい。外国に出て、時々日本の姿を客観的に見ることは必要なことである。わずかの時間であっても、自分が住んでいる世界を外から見るために、時々、外国に出ることが必要なことを改めて実感した8日間であった。



実験の散歩道



機械工学科
講師

市川 武久

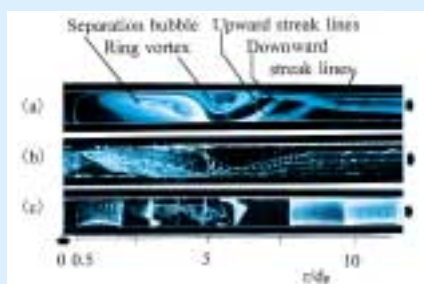
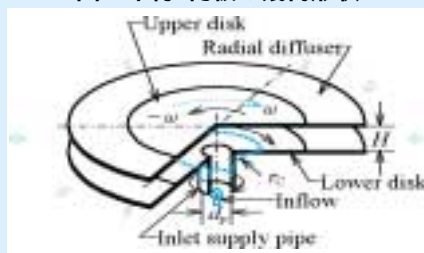
学術論文には、研究過程で生ずる様々なアクシデントに関する話は何も記述されていない。ここでは、当時の私が誰にも話したくなかった実験の失敗話を紹介する。

平行二円板間の放射状流れは工業上のさまざまな用途に見受けられ、工学的にも基礎的な流れでの一つであって、私の研究テーマにしているものである。

図1に、平行二円板流入部の幾何形状を示す。この形状は供給管の直径 d_p 、二円板の隙間 H および供給管と円板部を接合するバンド部の丸み半径 r_C によって定まる。また、二円板部は円板が静止している場合と角速度 ω で回転している場合がある。

実験装置内の流れを、直接目視することを目的とする「流れの可視化」は、流動に伴う物理的現象の理解を助けるために必要な優れた特徴を持っており、比較的手軽に利用できる文献にあった。私はこれを選び、平行二円板間の放射流の実験に、この手法を採用することにした。流体に関する研究では速度計測が特に重要であるため、熱線流速計やレーザー流速計を用いる実験が主流であるが、それを買える見込みがなかったためもある。一般に実験装置は大きいスケールの

図1 平行二円板の幾何形状



a) 染料注入法 (b), (c) 水素気泡法
($H/d_p=1.0$, $Re=118$)

図2 はく離泡と下流の可視化写真

方が観察しやすいが、本実験では材料寸法と旋盤の加工の制約により、円板の直径は900mm、隙間5~80mmで可変できるように製作した。

図2はレイノルズ数 $Re=118$ の場合の可視化写真である。同図(a)は、染料注入法によるもので、流入角部に生じる入口はく離泡と上壁に接するリング渦が可視化されている。この様な写真により渦や下流の流れ構造を観察したのであるが、これを得るために、約2年間を要している。同図(b)は水素気泡発生用の白金線を、供給管端に取り付けた場合で、はく離泡と主流の流れ状態が知られる。また、同図(c)は白金線を平行二円板間の数箇所に取り付けた場合で、各半径位置における速度分布を知ることができる。これらの写真を得る過程で、困ったハプニングが次々と起きたのである。

水を電解すると陰極から水素気泡が発生する。これをトレーサに用いて、流れを可視化する手法が水素気泡法である。水素気泡発生用の細線は直径5ミクロンで、凝視しなければ見えないほど細い。それを二円板間に20本も張るのである。円板と細線の直径比は200倍もあるため、この作業は神経の集中を要し、少し続けると血圧が上ってくる。やっとワイヤ張りが終え、実験すると、水素気泡の浮上速度が大き過ぎて、速度分布のデータは取れないのである。文献に、この手法の取り扱いが容易とあるのはウソ。うまく使いこなすには、まだまだ、かなりの工夫が必要であった。

東海大中山先生は水路で流れを絞った流れに水素気泡法を適用、岐大永田先生は静止水中で観察物体を走らせ、水素気泡法を適用している。いずれの場合も水素気泡法に最適な流れ場を作っているのである。一方、本研究は流路形状が決まっているため、実験条件がかなり制約されることになる。鮮明な可視化写真を得るのは困難である。この手法はあきらめたほうが良いのであろうか。

幸い、グリセリン水溶液中に水素気泡法を適用した文献を思い出したが、どこを調べてもグリセリン水溶液の特性は記述されてない。調べる他がないのである。レイノルズ数 $Re=vd/\nu$ は、動粘度と流速が比例すれば流れの相似則が成立することを示している。したがって、グリセリン水溶液中で水素気泡法を適用すれば、水素気泡法の適用限界 Re 数は小さい側に拡大するはずである。この関係を試算し、田中先生(元大同工大教授)と中林先生に、グリセリン水溶液を使う是非を伺いにいった。ところが、師曰く。ネバネバのグリセリンは扱い難い。動粘度を求める作業は大変である。したがって、別な方法を選択した方が賢明である。例えば、小形の実験装置を製作し、相似則を満たした実験を行えば速い流速になる。このことは水素気泡法の最適範囲で実験できることを示しているのではないかと。即座に反論もできず、私は引き上げてきた。

しかし、である。仮に、1/10スケールの2mm幅装置で実験するとすれば、細線用に0.08mmの孔加工をせねばならない。そんな加工は困難である。また、水素気泡の直径も装置に比例して小さくならないではないかと。

こう考え、グリセリン水溶液の実験を強行することに決め、翌週その旨を伝へに伺った。そしてた。グリセリン水溶液の動粘度表をくださり、粘度の精密測定法も教えて頂いた。私の計画を認めてくださったのである。こうして、その実験を再開した。

結果は悲惨であった。購入した160リットルのグリセリンが数日間で腐ってしまったのである。腐敗グリセリンはものすごい臭いを発生し、仲間に迷惑をかけ、水槽掃除に1週間もかかってしまい、実験が振り出しに戻ってしまったのである。涙を飲んで、グリセリンの最適濃度、電気化学的特性および防腐剤を調べる実験を始めた。図2に示した写真はこのような1年間の基礎実験後得られたものである。

図3は、水および66%グリセリン水溶液中で水素気泡が上昇する様子を撮影した写真である。66%グリセリン水溶液中の水素気泡はパルス線が一樣に上昇しており、水中よりかなり良好でになることが理解される。

図4に、気泡浮上速度とグリセリン水溶液濃度の関係を示す。濃度が高くなるに伴い、気泡上昇速度が急減し、66%水溶液では水中の約1/4になる。さらに、貫流の流れ場では、細線からの気泡の離脱が良好になることも明らかになった。

図2の可視化写真を得るために、4年以上の歳月を費やしている。この後、実験と対応する数値シミュレーションが無ければ論文にはならないと言われたのである。私はこれまで、フォートランの授業を受けたことはない。その私に、数値シミュレーションを独学でやれとおっしゃるのだ。前途は遠い先のさき、まさに闇の中にあった。



(a) 水 (b) 66%グリセリン水溶液

図3 水素気泡の浮上速度

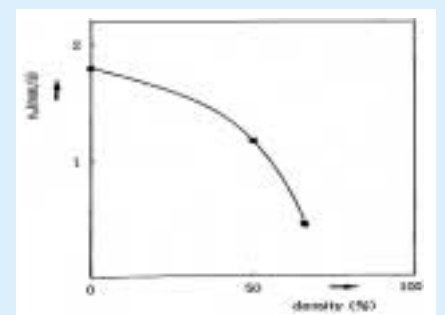


図4 グリセリン水溶液濃度と水素気泡上昇速度の関係

文献

K.Nakabayashi, T.Ichikawa, Y.Morinishi, Size of annular separation bubble around the inlet corner and viscous flow structure between two parallel disks, Experiments in Fluids 32(2002)425-433.

日本に対しての関心は、 京都や奈良ではなく、 今を生きる日本と日本人

みなさんこんにちは。私はこの4月から本学の海外提携校の1つであるオレゴン州立大学に留学しています。まずはこの大学のある町コヴァリスについて簡単に紹介しましょう。アメリカは西海岸のオレゴン州ポートランドから車で1時間半ほど南に行った人口5万人足らずの小さな町で、大きさは皆さんが今いる大同学園を中心にして、南は柴田から北は港東通、東西も同じくらいと言えばわかりやすいでしょうか。人口の約1/3が学生を含めた大学関係者、残りがコンピュータ大手のヒューレット・パッカートと病院関係という構成の町、と言うと先、これらがあってできた町と言った方が適切でしょう。こうした由来の町だからでしょうか、住民の教育レベルや収入なども高く、自分たちで町の環境をより良いものにしていくという意識の高さが随所で感じられます。たいへん静かで緑の多い、日本で言えば軽井沢に代表される避暑地のような非常に快適な環境です。この町で私の家族(家内と小学生の子供2人)は一戸建てを借りて住んでいます。名古屋なら3軒は余裕で収まってしまふような大きな敷地で、家の前も後も青々とした芝生が敷かれ、始終やってくる鹿やリスには子供たちは大喜びです。何をやるにしてもあくせくしたところがなく、このままここに暮らしてみたくなるほどです。このようにゆったりとした時の流れの中で落ち着いて研究をしたり本を読んだりしています。



指導教授のコステロ先生宅のホームパーティーにて
左は同じくVisiting Scholarのパク先生

さて、今回工大キャンパスに近況を報告するという機会をいただいて、一体どんなことをみなさんにお話ししようかと考えたのですが、ちょっと視点を変えて、こちらに来てこの半年間で感じた日本のことについてお話ししてみたいと思います。アメリカに来てなんで日本?と思われるかもしれませんが、実際アメリカに住んでみると嬉しい驚きをもって気が付きますが、日本人の創造力や叡智というものはたいしたもの。先にも述べたようにここは大学の町だけあって、現地の人ももちろんのこといろいろな国のいろいろな人と接する機会があります。そしてその度に日本の良い評判を聞いたり、日本に対して強い関心を持った人がたくさんいたりすることを感じます。話題が日本のことに及ぶとたんに盛り上がり、あれこれと質問攻めになるのです。他の国から来た人々には申し訳ないくらいです。言うまでもありませんが、関心があるというのは京都や奈良に代表される古代文化の日本ではなく、今を生きる日本と日本人のことです。こうした機会があるにつけ自分が日本人であることを好むと好まざるに関らず強く意識するようになったのです。

具体的にお話をしましょう。たとえば自動車。街中日本車だらけです。感覚的に2台に1台は日本車でしょうか。日本ではどちらかと言うと大衆車と捉えられているカムリ、アコードがこちらでは高級車扱い、カローラやシビックでも中級車と言う位置づけになります。面白いのは中古車です。日本車だと1年経つごとに8~9掛け、一方他国車は5~6掛けがせいぜいです。これほど信頼性において絶対的な強さを持っているとは思いませんでした。小型精密機械に至っては日本製品の独壇場で、誤解を恐れずに言えば日本製以外のものはガラクです。(って、私が言ったん

海外留学「近況報告」

情報機械システム工学科助教授 大嶋和彦

じゃありませんよ。)大体家庭用ビデオやデジカメなど精密技術の粋を集めたような製品に他国製の物はありません。こうした日本の工業製品はそのブランド名を冠する大企業のみならず、その子会社・孫会社・下請けまで含めて良い仕事をしているからに他なりません。その点工科系大学であるみなさんが将来どのような企業に就職しようとも、自信と誇りを持って仕事に臨んでもらいたいと切に思いますよ。

『確かに日本人は工業技術はお得意だけど、精神面・文化面に乏しいからねえ。』日本にいる時はそれがさ世界共通認識のようなフレーズでした。でも、アメリカ人はおろか世界中の誰も日本人の文化程度や独創性が低いなどとは思っていません。みなさんが大好きなプレイステーションやファミコンなどのハード面はもちろん、ソフトにしてもファイナルファンタジーやマリオなど世界中に愛されています。子供の友達が遊びに来るとよくわかるのですが、今のアメリカの子供はどつぱりと日本文化に浸かって育っています。みなさんご存知のポケモンをはじめとしてセーラムーン、キティちゃん、ゴレンジャーなどの戦隊もの、ゴジラやドラゴンボールなどが入れ替わり立ち替わりアメリカの子供たちをどりにしています。私の世代がディズニーに憧れたように、こうしたメディアを通じてこちらの子供たちには日本に対する憧れが培われているのです。

子供の学校の行事でサイレントオークションというのがありました。かごの中に各家庭がボランティアとして提供できるもの、たとえばドライフラワー、アメフトの観戦券などを入れて入札します。そしてそこで得られた収入は学校に寄付するのです。我が家は家内の手料理の日本食チケットを提供しました。それが人気殺到。すぐに値付けの上限に行ってしまいました。日本食=健康食と言う図式が成り立っているだけではなく、器をめでながら食べる精神世界や、少量多品種の様式美?に並々ならぬ関心があるようです。我々にとっては健康食もなにも単なる食事なのにね。これからは夕飯くらいはもっとゆっくり時間をかけてありがたいいただきましょうか。

漢字。我々にとっては中国からやってきた文字と言う認識ですが、こちらでは日本の

海外留学”コヴァリスから車で1時間半のフローレンスと言う町にて
サンドバギーを家族で楽しむ



文字という認識みたいなんです。中国から輸入したものを日本の文字(仮名のことでいい。これさえも漢字から作ったものなのですが。)と融合させて、独自の文字体系を作っている。と、クレジットカードのサインを漢字で書くと店員が『カッコイイー!』なんて覗き込むので、彼の名札を見て名前を適当な当て字で書いてあげると『うわー スッゲー!』なんて商売そっちのけではしゃぎだします。みな

さんも何かの機会に試してみたら友達になるきっかけができるかもしれません。ただし夜露死苦なんて暴走族まがいの当て字はいけませんよ。

まだまだたくさんありますが、きりがないのでそろそろまとめないと。みなさんもうんざりしているかもしれませんし。若いみなさんにご存じないかもしれませんが、パブル

がはじける以前、\$1=¥80くらいだった時分に日本ブームと言う現象があり、日本のあらゆる事象がそれこそたいへんなもてはやされ方でした。パブルの崩壊とともにそうしたブームも冷め切ってしまったように感じていましたが、こちらに来て、それはブームからより日常に浸透・定着しているのを感じました。日本ではここ数年景気も低迷し、『この先日本はどうなっちゃうんだろ?』なんて悲観的な将来像ばかりが話題に

挙がっていますが、こちらに来て日本人の創造力や独創性の高さを随所で窺い知るにつけ、『日本もまだまだ捨てたもんじゃないぞ、いや、むしろ日本って今だってなかなかナイスじゃないの?』と体で感じる、感じさせられるようになったのです。

日本にいて、しかも私のつたない文章でみなさんにそれを理解しろというのは無理な話だとは思いますが、騙されたと思って心の片隅に自負として留めておいてもらえたら嬉しく思います。そして面積で言うと地球のわずか0.3%にすぎず、天然資源にも恵まれないわたしたちの国が物心両面で世界の関心や注目を浴びている理由についてもちょっと考えを巡らせてほしいのです。いささか日本礼賛のようになってしまいましたが、私は国粋主義者ではありません。冒頭に述べたすばらしい環境の中で、わたしたちが見習うべきこちらの良さ、すばらしさもたくさん発見しました。が、紙面も尽きてきました。それに関してはまたの機会にお話しするとしましょう。

新刊著書を語る

スモーキーナイト ジャズミンはけむりのなかで

B5判変型33ページ

訳者 橋本博美(外国語教室助教授)

著者 Eve Bunting

絵 David Diaz

出版社 岩崎書店

発行日 2002.8.20



このたび、大学より出版助成をいただき、拙訳絵本「スモーキーナイト」を上梓することができた。昨年の9月11日以降、戦争、テロ、暴動・・・、あらゆる種類の暴力を、世界がなし崩し的に必要悪として容認する傾向を憂えてきたが、自分に今できることは何かと考えたとき、この作品のことが頭に浮かんだ。

10年前にロサンゼルスで起きた黒人暴動を、一人の少年の目を通して描いた異色の絵本であり、1995年、アメリカでもっとも優れた絵本に贈られるコルデコット賞を受賞した。ここで描かれているのは、たんに他国アメリカの、人種問題という限定的なテーマではなく、他民族・他文化社会において人間同士の摩擦が暴力に発展してしまったときに、人はいかにしてそれを解決できるかという、今、日本を含め世界中が真剣に考えねばならない問題である。刺激的で惨い映像を垂れ流して、幼い子どもに見せつけるだけでなく、その問題を解決するための、賢明な方策を考えるヒントを提示するのは大人の義務だろう。報復ではなく和解という道もあるのだ、と。子どもから大人まで、皆で読み、話し合っ

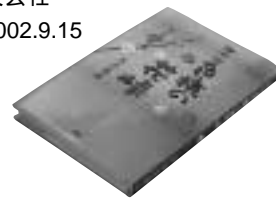
三色桃の花峠

B6判129ページ

著者 茂吉雅典(情報学科講師)

出版社 文芸社

発行日 2002.9.15



大同町キャンパスに数本の三色桃の苗木を植えました。もう、4~5年くらい前のことです。

また、DAIDO CAMPUS 32(2000.4.24発行)の、ゴビーの散歩道に「福沢桃介と三色桃」を書きました。三色桃のことは1964年頃、初代学長の錦織先生が教えて下さいました。ゴビーの散歩道で「伊那谷と木曾谷で苗木を育てている人との出会いもあり・・・」と紹介しましたが、その後もお付き合い頂いてお話を伺うことができました。それが、今回の「三色桃の花峠」という本になりました。従って、この本の源流は「ゴビーの散歩道」にあります。

物語は三色に咲き分ける桃を育てることを生き甲斐にしている、ふたりの戦争体験者を描きました。三色桃は舞台となっている木曾谷と伊那谷の地から、命の大切さと平和の尊さを、静かにそして、ふかく語りかけています。大同電力と福沢桃介のことも少し書きました。中学生・高校生を読み手の対象に描きましたが、大人も充分楽しめる作品です。多くの人々に読まれることを祈願します。そして、三色桃の花の咲く頃、木曾駒ゼミナーハウスの帰りにでも木曾や伊那谷を訪れては如何でしょうか、すばらしい三色桃に出会えます。

レーシングカート部

2002年 第7回 学生カート選手権
SSDクラス 磯貝真典君全国優勝！！



最多の27台を集めたSSDクラス。 磯貝君



磯貝真典君

大学カート連盟主催(L.I.K.)の全国学生対抗カートレースが、8月6日、7日の両日にわたって宮城県・スポーツランドSUGO国際カートコースに出場20校56台(3クラス)によって開催され、もっとも多く出場したSSDクラス(12校27台)で99M磯貝真典君は全国優勝を果たしました。カート部は、第3回学生カート選手権(新東京サーキット開催)で97M横地学君が優勝して以来4年ぶり2回目の全国制覇でした。

真夏の開催は猛暑との戦い。太陽の直射、アスファルト路面の反射熱とカートからの排気ガスなどで、レーシングスーツ内は滝のように流れ出る汗。只さえ慣れていないコースでのレースは緊張と不安からくる汗で、握るハンドルの掌の感覚が無くなっている。まさに精神力との戦い。

今大会は気温32度を超え、体力面を考慮し、予選・決勝の周回数を変更するほどの猛暑でのレースとなった。磯貝真典君は、公式練習、タイムトライアルともにトップタイムを記録。「いける。マシンの調子がいい。」予選第1、第2ヒートともにポールポジションを獲得し、順調に1位となる。迎えた決勝ヒート(1周、約1kmを14周)、ポールポジションからローリングスタート。一斉にエンジン音が劈く音に変わり、時速90km/hにあがる。順当に周回を重ねていくが6周目、周回遅れに捕まり、東北大学にトップを譲る。8週目に難なく抜き再度トップに立つ。迎えた13周目の最終コーナーで「しまった/ブレーキミス。」東北大学に再度トップを譲る。嫌な予感が脳裏に浮かぶ。昨年のSL瑞浪シリーズで、あと一歩で優勝かと思われた矢先の交通事故、信号待ちで停まって

いるところへ追突され腰を痛めた。医者からレースを止められ万事休す。その時の腰はまだ癒えていない。これが体力の限界なのか。2位と1位とでは、格段の違いがある。「勝ちたい。このままでは終りたくない。」最終ラップの10コーナー。トップを走る東北大学が外に膨らむ「今だ!」インに入る。東北大学、インを閉めに入る。両車接触!東北大学、スピンを喫しリタイヤ。そのまま磯貝君がチェッカーフラグを受けて優勝。「やった!やった!」両手を突き上げ、一度、二度、三度とガッツポーズ。

磯貝君の優勝で10ポイントを獲得し、総合でも4位となりました。

SSDクラス(ヤマハ・ワンメイク)

- 優勝 99M磯貝真典
- 2位 新潟工科大学
- 3位 東北工業大学

7/26~28 鈴鹿選手権第5戦

- 01M伊藤邦彦 FD-3 決勝22~8位
- 02M榊原康人 FD-3 決勝30~29位

7/7 SL瑞浪レイクウェイ

- 99M磯貝真典 FP-4 決勝3位

ハンドボール部

8/9~13 第41回西日本学生選手権大会

広島県総合体育館、広島東区スポーツセンターの両会場で、出場32大学(東海7大学、関西13大学、中四国6大学、九州6大学)によって開催されました。予選リーグにおいて九州No.1の福岡大学に接戦の末、2点差で惜敗しG組2位となり決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、各組2位が対戦する全日本インカレ出場決定戦においては琉球大を大差で破り、全日本インカレの出場権(11/13~17 大阪中央体育館)を獲得しました。

予選リーグ

- 大同工大 27-16 関西大
- 大同工大 23-11 近畿大
- 大同工大 17-19 福岡大

インカレ出場決定戦

- 大同工大 22-14 琉球大

9/8~10/13

東海学生ハンドボール1部秋季リーグ戦

1部3季目にして準優勝

過去最短で1部3季目にして準優勝。優勝した中部大には負けたものの、他大学には危なげなく退けての準優勝でした。最終戦の名城大戦も、後半残り30秒でシュートを決めるなど粘り強さが目立った秋季リーグ戦でした。板垣貴幸主将(3年)は「全日本インカレにつながる試合になりました」と笑顔で語ってくれました。

- | | |
|------------|----------|
| 1位 中部大 | 2位 大同工大 |
| 3位 名城大 | 4位 中京大 |
| 5位 愛知大 | 6位 愛知教育大 |
| 7位 愛知学院大 | 8位 名古屋大 |
| 大同工大 32-18 | 愛知大 |
| 大同工大 33-18 | 愛知教育大 |
| 大同工大 22-20 | 愛知学院大 |
| 大同工大 29-13 | 名古屋大 |
| 大同工大 12-20 | 中部大 |
| 大同工大 16-12 | 中京大 |
| 大同工大 25-17 | 名城大 |



対 中部大学(9/29石井記念体育館)



バレー部

9 / 14 ~ 10 / 20

東海バレーボール秋季1部リーグ戦

1部リーグ残留を果たす

春季リーグ同様に非常に厳しい戦いであった。セット率で7位を確保。入替戦の相手は2部2位の岐阜大学。第1セット、1部昇格をめざす岐阜大の勢いと1部のプライドに掛けても負けられない一戦は互いに譲らず接戦が続いた。終盤に入り、勢いに乗ってきた本学はサーブレシーブにミスが目立ち出した岐阜大に圧勝。残り2セットも危なげなく勝ち1部残留を決めました。

1次リーグ順位

- | | |
|----------|-----------|
| 1位 愛知学院大 | 2位 中京大 |
| 3位 愛知大 | 4位 名古屋学院大 |
| 5位 朝日大 | 6位 名城大 |
| 7位 大同工大 | 8位 愛知教育大 |

1次リーグの結果(1部)

- | | | |
|------|-------|-------|
| 大同工大 | 0 - 3 | 愛知大 |
| 大同工大 | 0 - 3 | 中京大 |
| 大同工大 | 0 - 3 | 名古屋学院 |
| 大同工大 | 0 - 3 | 愛知学院大 |
| 大同工大 | 3 - 0 | 愛知教育大 |
| 大同工大 | 2 - 3 | 朝日大 |
| 大同工大 | 2 - 3 | 名城大 |

下位リーグの結果

- | | | |
|------|-------|-------|
| 大同工大 | 0 - 3 | 朝日大 |
| 大同工大 | 0 - 3 | 名城大 |
| 大同工大 | 2 - 3 | 愛知教育大 |

1部2部入替戦

- | | | |
|------|-------|-----|
| 大同工大 | 3 - 0 | 岐阜大 |
|------|-------|-----|

6 / 26 ~ 30

西日本大学バレーボール男子選手権大会
予選リーグ

- | | | |
|------|-------|------|
| 大同工大 | 3 - 2 | 神戸学院 |
|------|-------|------|

決勝トーナメント

- | | |
|-----|------------------------|
| 1回戦 | 不戦勝 |
| 2回戦 | 大同工大 0 - 3 甲南大(関西1部4位) |

ボート部

8 / 22 ~ 25

第29回全日本大学選手権大会

準決勝で惜敗!

ダブルスカル、予選トップで準決勝進出を果たす。決勝戦進出も夢ではなくなった。

ダブルスカル予選

- | | |
|----|-------------------|
| 1位 | 大同工大(01J安藤、01E石丸) |
| 2位 | 愛知工業大 |

- | | |
|----|-------|
| 3位 | 福島大 |
| 4位 | 慶応義塾大 |
| 5位 | 大阪工業大 |

ダブルスカル準決勝

- | | |
|----|-------|
| 1位 | 日本体育大 |
| 2位 | 東海大 |
| 3位 | 大同工大 |
| 4位 | 兵庫大 |
| 5位 | 立命館大 |

シングルスカル予選

- | | |
|----|-------------|
| 1位 | 鹿屋体育大 |
| 2位 | 一橋大 |
| 3位 | 東北学院大 |
| 4位 | 南山大 |
| 5位 | 大同工大(00M鳥山) |
| 6位 | 大阪府立大 |

8 / 4

第44回名古屋市民スポーツ祭レガッタ

エイト、ダブルスカルで優勝!

シェルエイト決勝

- | | |
|----|--------|
| 優勝 | 大同工大 |
| 2位 | 中川運河RC |
| 3位 | 庄内川RC |

ダブルスカル決勝

- | | |
|----|-------|
| 優勝 | 大同工大 |
| 2位 | 愛知工業大 |
| 3位 | 南山大 |

シングルスカル決勝

- | | |
|----|------|
| 優勝 | 旭丘高 |
| 2位 | 大同工大 |
| 3位 | 南山大 |

陸上部

10 / 26 ~ 27 東海秋季インカレ競技会

1万mで3位、4位入賞を果たす。

来年2月2日の名岐駅伝出場も手中に!

5000m

- | | |
|-----------|---------------|
| 01 J 大和立幸 | 14分42秒10(第5位) |
| 01 E 片桐雅樹 | 15分03秒21 |
| 00 M 大森弘之 | 15分11秒40 |
| 02 M 南康次郎 | 15分49秒28 |
| 02 C 奥野 拓 | 15分25秒20 |
| 01 M 宇野彰紘 | 15分36秒98 |

10000m

- | | |
|-----------|---------------|
| 01 J 大和立幸 | 31分07秒76(第3位) |
| 01 E 片桐雅樹 | 31分11秒90(第4位) |
| 01 M 宇野彰紘 | 32分32秒21 |
| 00 M 大森弘之 | 32分41秒99 |

10 / 5

平成14年度第3回駅伝強化長距離競技会

- | | |
|-----------|----------------|
| 01 J 大和立幸 | 5000m 14分50秒73 |
|-----------|----------------|

- | | |
|-----------|----------------|
| 01 E 片桐雅樹 | 5000m 15分35秒40 |
| 00 M 大森弘之 | 5000m 16分02秒44 |
| 01 M 宇野彰紘 | 5000m 16分01秒28 |

硬式野球部

9 / 7 ~ 10 / 28

愛知大学野球(4部)秋季リーグ戦

4部3位

- | | | |
|------|--------|--------|
| 大同工大 | 9 - 8 | 愛知淑徳大 |
| 大同工大 | 0 - 1 | 愛知淑徳大 |
| 大同工大 | 13 - 2 | 愛知淑徳大 |
| 大同工大 | 7 - 1 | 名古屋産業大 |
| 大同工大 | 13 - 1 | 名古屋産業大 |
| 大同工大 | 3 - 5 | 名古屋工業大 |
| 大同工大 | 6 - 8 | 名古屋工業大 |
| 大同工大 | 10 - 9 | 愛知文教大 |
| 大同工大 | 11 - 0 | 愛知文教大 |
| 大同工大 | 7 - 8 | 東邦学園大 |
| 大同工大 | 7 - 3 | 東邦学園大 |
| 大同工大 | 4 - 8 | 東邦学園大 |
| 大同工大 | 10 - 0 | 名古屋市立大 |
| 大同工大 | 10 - 2 | 名古屋市立大 |

自動車部

6 / 23

全中部学生ジムカーナ選手権大会

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 団体(98M木村、98M松永、01M近藤) | 4位 |
| 一般 | 99M藤原幸夫 10位 |

7 / 14

山室山ダートトライアル第2戦

- | | | |
|-----------|---|----|
| 99 E 山田和弘 | A | 5位 |
| 99 M 後藤淳宏 | A | 7位 |

マウンテンバイク部

6 / 22 ~ 23

BICYCLE CLUB CUP

- | | |
|------------|-------------------|
| 00 M 大野伸一郎 | (クロスカントリースポーツクラス) |
| TOTAL | 9位 20代 2位 |
| 02 M 青木健司 | (ダウンヒルスポートクラス) |
| TOTAL | 85 / 209位 |
| チームエンデューロ | 17/29位 |

フットサル部

7 / 14 Brasil Challenge

in NAGOYA WEST CLUB

決勝トーナメント準決勝 ベスト4位

7 / 27 第4回アサヒ飲料杯

スポニチフットサルクラブ選手権
3位

環境デーなごや 2002 中央行事参加 「市民とともに環境を考える都市環境デザイン学科」

名古屋市では、「楽しみながら学ぼう、環境のこと」をキャッチフレーズに“環境デーなごや”を一昨年
から開催している。今年も9月8日(日)に名古屋市栄の久屋広場を主会場に、もちのき広場、エンゼ
ル広場、光の広場で開催された。本学の都市環境デザイン学科は、昨年に引き続き出展し、都市環境に
関連する研究内容を一般市民の方々に披露した。昨年はパネル展示のみで、来場者の関心を集めるこ
とができなかったという反省から、今年は体験型の展示を企画し、堀内将人教授、大東憲二教授をはじめ、大学院生と4年生ら数名が参加協力した。

地震による地盤の液状化実験

大東教授、大学院生の02B M09佐伯茂雄君、4年生の99C047田中淳一君が担当。「地震による地盤の液状化実験装置」は、ガラス水槽にキャストの付いた台の上に置き、その中に砂を緩く詰めて地表面よりも少し下まで水に浸す。このとき、マンホールや地中埋設物を想定したカラーピンポンボールを埋め、地表面には、建設機械のミニチュアを乗せておく。この状態で、地震を想定してガラス水槽を前後に揺らすと砂地版が液状化してカラーピンポンボールは浮き上がり、建設機械のミニチュアは地盤に沈み込む。揺らすのを止めた後は、地表面に水がしみ出して溜まる。

この装置は地震時の液状化現象がとても分かりやすい実験装置で、ガラス水槽を揺らすことで実験に参加でき、子供らも水槽を揺らすって、地盤の液状化現象を体験していた。

近々発生するかも知れない東海地震による被害想定がマスコミで取り上げられていたこともあり、来場者の多くは、液状化実験を目的の当たりした後、パネルに示した名古屋市消防局作成の液状化被害想定マップと自宅の位置を重ね合わせて一喜一憂していた。

展示パネルには、液状化の説明図と同時

に、名古屋市を横断する東西南北の地盤断面図を最新名古屋地盤図から引用して掲載。

さらに、広域地盤沈下を監視するためにGPSやGIS(地理情報システム)を利用した研究を紹介するパネルなども展示していた。



堀川の水質分析

堀内教授、大学院生の02B M12瀬古学君、02B M18平江伸浩君が担当。「堀川の水質分析」では、来場者らは、パックテストを使って、堀川の数カ所から採取してきた水に含まれるCODとアンモニウムの濃度を簡単に判別していた。展示ブースの近くにNPOの「クリーン堀川」が出展していたので、一般市民の方々だけでなく、「クリーン堀川」の人たちもブースに立ち寄り、堀内教授の説明に興味深く聞いていた。

堀川は、名古屋市内の数少ない都市河川であり、その汚れに対する市民の関心も高い。来場者の一人、堀川の汚染の変遷を目の当たりにしてきた年輩の女性から、堀川の歴史を教わるなど、市民との交流の場ができて、堀内教授をはじめ学生たちも満足していた。

油汚染土の浄化実験

大学院生の02B M21宮川鉄平君と4年生の99C038鈴木雄彦君、99C076宮川徳浩君が担当。「油汚染土の浄化実験」では、砂を入れたビーカーに赤く着色したサラダ油を入れて油汚染土を作り、そのビーカーに界面活性剤を注入して攪拌することで、砂と油が分離する様子を観察する実験。

名古屋市内でも土壌地下水汚染が問題になっているが、油で汚染された土壌と地下水の浄化対策は全国的にも取り組みが遅れており、本学都市環境デザイン学科の大東・棚橋研究室でも昨年より原位置浄化対策の研究に取り組み始めたばかりである。この実験は、一般市民には少々分かりにくかったようで、来場者の関心は今一つ。

来場者には、入試室が用意したディットちゃんメモ帳を記念品として配布。メモ帳は170冊用意していたが、オープニング4時間後には全て無くなるなど盛況であった。



大東憲二教授：「環境デーなごや」中央行事に参加することは、新設の「都市環境デザイン学科」を一般市民に知ってもらうことが当初の目的であったが、都市環境を良くする方法を市民と一緒に考える良い機会となった。これからも毎年「環境デーなごや」中央行事に参加していきたい。



冠映画試写会 “月のひつじ”が大盛況

恒例の行事となった本学協賛冠映画試写会(主催 中日新聞社)日本ヘラルド映画配給映画「月のひつじ」が8月2日(金)午後7時から愛知県中小企業センター(中村区名駅4)で上映されました。

映画は、1969年7月にアポロ11号が月面に着陸。オーストラリアの科学者たちは月面歩行というかつてない歴史的映像を世界に生放送でテレビ中継する任務を受ける。歴史的瞬間の映像を世界にもたらすという人類初、アポロ11号の月面着陸をめぐる奇跡と感動のトゥルー・ストーリー。

お盆上映映画とあって、募集定員250組500名に2,187組の応募者から抽選に当たった入場者で会場は満席になり大盛況でした。



知多市ふれあいプラザ共催講座 絵本の朗読とお話し

知多市ふれあいプラザ(知多市朝倉)社会交流センターとの共催講座が、9月20日(金)ふれあいプラザで開催されました。

「アメリカの現代絵本：朗読とお話し」と題して、橋本博美外国語教室助教が担当。子ども達の読書離れは、親が子に絵本を読ませたり、おとぎ話をしなくなったことで、本に対する興味が極端に低下していると言われていた。最近、話題となってきている“読み聞かせ”活動に協力するかたちで、共催講座を開講。聴講者は、知多市内の小学校教員、地域ボランティア団体の人など23名の方々が聴講しました。

講座は、翻訳された橋本助教から、現代のアメリカの社会問題を扱った絵本「スモーキーナイト：イバンティング著」をもとに、朗読と絵本を紹介。最後に、6月29日、大同高校PTA進路講演会で好評であった「SUNSHINE HOME by Eve Bunting」を朗読したところ、聴講者から、朗読の仕方、絵本の入手方法など質問などがあり大変好評でした。



横山客員助教授 岐阜県美術館「ルドン展」などの装飾を担当

J R岐阜駅構内のWORLD DESIGN CITY「ACTIVE G」で開催された「秋祭」の告知と、岐阜県美術館「ルドン展」の宣伝の両方を兼ねた装飾デザインを、横山弥生情報学部客員助教授が担当され、9月27日付、中日新聞(朝刊)岐阜県版で紹介されました。

作品は、秋深い黄色を基調に、立体物には平面のイメージを、平面のフラッグには立体のイメージを相互に取り入れた展示。館内だけでなく、建物の外にも飾られ、往来する人々の目を引いていました。



電気関係学会東海支部連合大会 院生らが発表

2002年度電気学会他7関係学会東海支部の連合大会が9月19日、20日の両日にわたって、本学滝春校舎で開催され、1,350余名の学会関係者が訪れました。

一般講演では、院生の田端雅希君らが「水電極を用いた汚水処理に関する研究」を、「オイルミスト用電気集塵装置に関する研究」に中川奈津樹君らが、事前の発表練習の成果が出て、非常にわかり易く発表するなど、東海地域の大学、企業などの研究者、28部門に680件の部門別講演があったほか、シンポジウムに34件。特別講演では、澤岡学長の「我が国の宇宙開発と国際宇宙ステーション計画」に150余名の聴講者があり、国際宇宙ステーション計画の研究内容などに聴講者からは聞きっていました。澤岡学長は、8月8日、照明学会全国大会特別講演会(中京大学)、10月15日、日本材料学会東海支部(ゴビーホール)などで、宇宙開発関係の講演をされました。



アジア初の電子芸術国際会議に出展



11th ISEA 2002 電子芸術国際会議が、名古屋で10月26日から30日にわたって開催され、榎田珠実情報学部助教授が出展参加しました。会場は名古屋港湾会館、名古屋港20倉庫、ナディアパーク、栄公園オアシス21など、名古屋市内20数箇所で開催。今年は「往来」をテーマに、世界の30を超える国と地域から約1500人のアーティストや研究者による研究・作品発表、講演会が行われました。

榎田珠実助教授の作品は、オアシス21地下、銀河の広場(栄公園)で、野外メディアアート展「新しい瞬間」として「ビデオインスタレーション」に、榎田珠実助教授、吉岡俊直氏の作品の他に選考された99D松本拓也君ら学生の作品も上映されました。彼はバンド活動を通じて、その音楽からイメージネーションしての映像を発表。上映時間、午後6時から8時、やや肌寒い会場ではあったが、立ち止って映像鑑賞する人達やテレビ局の取材班の姿がありました。また、名古屋芸術大学ギャラリー BE & be、スタジオ1&2においても名古屋芸術大学[フォアアクティブ：榎田珠実+吉岡俊直]に出展されました。



新任教員のプロフィール

本学に着任されました先生方を紹介します。



教養部外国語教室 講師 こにし あきのり 小西 章典

最終学歴: 南山大学大学院
(文学研究科英文学専攻博士後期課程)
学 位: 文学(修士)
最終前歴: 名古屋大学言語文化部非常勤講師
生年月日: 1972年11月3日
趣 味: 読書、映画鑑賞
着 任: 2002年9月1日付

生まれてから現在にいたるまで常滑市に住んでおります。大学・大学院に在籍していたときは名鉄を利用しておりましたので、本学のまえを毎日通っておりました。朝、通学の電車でふと左側を眺めると、高くそびえたつA棟本館の建物が目にはいり、夜、帰宅の電車でふと右側を眺めると、闇のなかで「大同工業大学」という文字が輝きを放っているのを見かける、そんな毎日でした。いま、大同町駅で下車して、毎日のように目にしていた建物に向かって足をすすめていることを思うと、ある種の不思議な気持ちがわきおこります。

わたしは、シェイクスピアを中心とする英国ルネサンス演劇を研究しております。本学では<未来>を見据えた最先端の研究・教育が行われておりますが、わたしは<過去>に目を向け、ほぼ400年前の異国の文化を勉強しています。<過去>の声に耳をかたむけ、<現在>の問題を検討し、<未来>に思いをはせる...といった感じです。新たな気持ちで頑張ります。よろしく申し上げます。



教養部人文社会教室 講師 やなぎはら かつゆき 柳原 克行

最終学歴: 立命館大学大学院
(法学研究科博士後期課程公法専攻)
学 位: 博士(法学)
最終前歴: 日本学術振興会特別研究員
生年月日: 1971年5月20日
趣 味: 音楽・落語・演劇等の鑑賞、
野球観戦、読書
着 任: 2002年10月1日付

今年度後期より、教養部・人文社会教室でお世話になります。大阪府に生まれ、奈良県で育ち、大学・大学院時代を京都で過ごした「関西人」です。専攻は政治学(比較政治論・現代政治理論)で、北アメリカ現代政治の理論と動態を研究テーマにしております。大学院時代は、カナダの地域主義と政党政治の展開について研究しておりました。ご承知の通り、カナダには、仏系ケベックの「主権」要求や西部の地域主義、あるいは二言語・多文化主義政策などの争点からも伺われますように、民族・文化・言語・地域などの次元で深い「亀裂」が存在しておりますが、そうした要素が政党政治の展開にどのような影響を与えているのか、あるいは、他の欧米先進諸国一般の政治的動向(とりわけ、グローバル化とポスト福祉国家時代の政治的対抗)と比較して、カナダ政治にはどのような特徴と共通点があるのか、といったことを考えております。

専任教員としては、大同工業大学が初めての大学となります。若輩で至らぬところも多々あるかと存じますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

退任教員からのメッセージ

本学を退任されました。



教養部人文社会教室 助教授 渡辺 博明
(退任:2002年9月30日付)

本年9月をもちまして4年半お世話になった大同工業大学を退職いたしました。98年に新米教員として赴任して以来、無我夢中でやっているうちに今に至ったというのが実感です。多くの先生方や事務職員の方々、そして学生の皆さんに支えられ、充実した日々を送ることができたことに感謝しています。ありがとうございました。

いま振り返って、大同工大の印象について考えてみますと、それほど規模が大きくない分、教員、職員、学生との距離が近く、アットホームな雰囲気の中で大学生活を送り、学ぶことができるのだと思います。私自身、一教員として、元気のよい(時によすぎる?)学生の皆さんにいろいろ教えられ、鍛えられたように思います。中でも特にA Aセミナーや授業で知り合った人たちとの交流は楽しい思い出です。

また本学は、けっして長いとはいえない私の在職期間中にずいぶん大きな変化を経験しました。新校舎ができ、カリキュラムが変わり、新学部ができ、研究授業も始まりました。近年大学を取りまく環境が大きく変わりつつある中で、大同工大はそれに合わせた自己改革に最も真剣に取り組んでいる大学のひとつだと思います。いまなお続くこうした改革への努力が実を結び、本学がますます発展していくことを願って止みません。

学生の皆さんも、この大学で、自分のやりたいことに思い切ってチャレンジしてください。皆さん一人ひとりの今後のご活躍を心よりお祈りします。

学位取得 おめでとうございます



工学部機械工学科 池田洋一 講師

平成14年7月10日付けで名古屋大学から博士(学術)の学位を取得されました。
学位論文『Trefftz 法による感度解析とその応用に関する研究』

訃報

ご逝去を悼み慎んでお悔み申し上げます。



教養部教職教室

講師 谷村 亮(享年28歳)

着任 2002年4月1日

逝去 2002年9月17日 心不全

先生は、広島弁まじりのもの静かな方で、音楽鑑賞、読書といった趣味からも窺い知ることができる実直な人でした。そんな誠実さが「心理学」の授業にも現れ、プリントやビデオ等を駆使して、難解な内容を丁寧に噛み砕いてわかり易く説明されていました。今年の4月に着任され、半年も満たない僅かな在職でしたが、学生らの脳裏には先生の講義に対する姿勢が焼き付いていて、訃報の知らせに耳を疑った学生の顔が印象的でした。研究室には、先生が飲み干したコーヒーカップがそのままに置かれ、言葉にならない空しさが漂っていました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



教務部長

工学部電気電子工学科

教授 日置 義明(享年57歳)

着任 1973年4月1日

逝去 2002年10月4日 心不全



日置義明先生を偲ぶ



副学長・電気電子工学科教授

岩間 三郎

日置義明先生(教務部長、電気電子工学科教授)は10月4日朝、急性心不全のためご自宅で逝去されました。享年57歳という若さでした。前日も普段のように仕事をされていた先生の突然の訃報に、大きな驚きを感じ、時の経過とともにそれが深い悲しみに変わりました。

日置先生は昭和48年3月、名古屋大学大学院工学研究科博士課程電子工学専攻を満了され、直ちに本学電気工学科の新進気鋭の助手として勤務されました。講師、助教授を経て平成6年より教授となられてからは、入試部次長、授業開発センター所員など、大学内の役職や重要な職務に当たり、とりわけ昨年の10月からは教務部長の要職に就かれて、本学の教育改革の推進役を果たして来られました。

本学へ赴任以来29年9ヶ月の間、日置先生は教育にも研究にも正面から立ち向かわれました。先生とともに時には苦しみ、時には喜び、その薫陶を受けた多くの卒業生は、今社会の様々な分野で活躍しています。この30年間の数々の思い出を振り返ると、万感胸に迫ります。大同校舎の

実験室では夜遅くまで学生と実験されていました。プラズマ理工学が専門分野で、最近ではプラズマ中に金属微粒子を浮遊させ、その相互作用の研究に精を出しておられました。実験装置は多くが手作りで、旋盤やボール盤の操作はもとより、プラズマ計測用のプローブも自らがガラス細工で作製したものでした。長年近くで拝見していて、そこに実験物理屋としての魂を感じる事ができました。 Nottingham 大学との国際共同研究をご一緒に進めることができたことは、お互いに楽しい経験としていつまでも残り続けることでしょう。

日置先生を偲ぶとき、何事においても真摯な姿勢であったことを忘れることはできません。授業の進め方、学生実験・卒業研究の指導等を話し合うとき、先生はいつも学生の味方でした。学生の訴えや、悩み事を全部自分で受け止め、また、ご自身の本心を包み隠さず言葉にできる日置先生は、学生にとっていわばオアシスでした。学科の会議で発言されるときも、学生の教育について、先生の自問自答する姿が滲み出ていました。多くの学生から慕われたのは、先生が学生を心から愛したそのお人柄によるものです。

若い頃、よくお酒を酌み交わしながら語り合ったこと、タクシーを降りた日置先生が道路で犬の字になったこと、また、大学祭や木曽駒ゼミナーハウスでは、学生たちと一緒に無邪気にはしゃいだことなどが今は懐かしく思い出されます。

日置先生の趣味の一つに「釣り」がありました。もうずいぶん前になりますが、私は一緒に海に出かけ、朝早くから小船に乗って糸を垂れました。さほど釣れた記憶はありませんが、小魚を釣り上げた先生は「もっと大きくなるまで」と言って優しく海に返しました。あのときのしぐさと言葉が鮮明に思い出されます。最近では釣りの話をほとんど聞くことはありませんでした。「また一度誘ってください」とお願いするつもりでしたが、もう叶わぬこととなりました。

実験室の前を通るとき、ガラス窓を通して、もうそこに日置先生のお姿はありません。会議を開いてもぼっかど穴が空いています。しかし私達はこれから先、日置先生の情熱を引継いでいきますからご安心下さい。そして天国から、あの優しい眼差しでいつまでも本学を見守って下さい。

日置先生のご冥福をお祈り致します。

合掌

INFORMATION

クリーン
キャンパス
芽生えよう!
リサイクルを
キャンパスの中から

キャンパス カレンダー

11月

- 20日(木) 後期学生代表者会議
- 23日(土) 学内レガッタ大会
- 25日(月) 第4回就職ガイダンス期間
(29日まで)
- 30日(土) 補講日

12月

- 2日(月) 就職能力試験 言語・数理 期間
(4日まで)
- 7日(土) 補講日
- 11日(水) 第1回女子学生就職ガイダンス
- 14日(土) 補講日
- 16日(月) 就職セミナー(18日まで)
- 19日(木) 土曜日の授業 補講日]
- 20日(金) 土曜日の授業 補講日]
- 21日(土) 月曜日の授業 補講日]
- 22日(日) 冬季休業開始(1月5日まで)

1月

- 5日(日) 冬季休業終了
- 7日(火) 成績単位票配布
- 10日(金) 第5回就職ガイダンス期間
(17日まで)
- 11日(土) 補講日
- 14日(火) 大学院生就職ガイダンス期間
(16日まで)
- 18日(土) 大学入試センター試験
- 19日(日) 大学入試センター試験
- 21日(火) 後期定期試験
(土日除く2月3日まで)
- 22日(水) 第2回女子学生就職ガイダンス

大同工大大同高校から

伊勢湾台風

「歴史の証人」との別れ

1959年9月26日の伊勢湾台風で、地域住民の避難所となった大同高校本館校舎が、来春、新校舎建設に伴い、取り壊されることになりました。

全国で、5,000余人の尊い命を奪った大災害。特に南区では、名古屋港の貯木場にあった木材が高潮によって流れ、住宅地を襲ったこともあり、25,000戸以上の住居が被害を受け、1,417人の人々が亡く

なった。校舎周辺の浸水位は、南区で最も高い3m以上におよび、流木と泥海化した。四階建ての校舎は、この年5月に完成したばかりで、周辺に高い建物は無く、水没した一階を除く二～四階には約2千5百人の住民が避難し一ヶ月間、非難生活を送った。教員、生徒らは“いかだ”作り、屋根の上に取り残された住民を救出したり、救援物資や急病人を搬送したりした。

当時を知る関係者らで「大同校舎をしのぶ会」が9月26日(水)開催された。当日は、田中理事長、高橋校長、教職員、生徒に避難所生活を送られた41名、総勢190余名の人達が参加。当時を知る教員、生徒、住民らが未曾有の災害に苦闘した日々のスピーチをはじめ、避難所となった教室の見学、資料展示や記録映画会などが催されました。



流木に囲まれた校舎

取り壊される現校舎

新キャンパスの 建設が始まる

待望の新キャンパス建設の起工式が、7月23日(火)旧大同校舎において、田中理事長、富田寛治大同特殊鋼株式会社代表取締役会長をはじめ140余名の来賓、教職員、生徒代表者の出席のもとで起工式が執り行われました。

学校全体が情報化され、生徒の自主学習・個別学習をサポートする「ラーニングセンター」「サテライトルーム」「マルチメディア教室」、ものづくり精神が養成される「ものづくり夢工房」やマナー・エチケットを学ぶ「お茶」「お華」など、勉強・礼儀作法を学ぶための環境が十分に整った新キャンパスで、竣工は来春3月末日頃。



起工式

大同工業大学
大同高等学校
新校舎



人事室

[死亡退職]

- 専任教育職員
平成14.9.17付
谷村亮(教養部教職教室講師)
平成14.10.4付
日置義明(工学部電気電子工学科教授)

[退職]

- 専任教育職員
平成14.9.17付
渡辺博明(教養部人文社会教室助教授)

[採用]

- 専任教育職員
平成14.9.1付
小西章典(教養部外国語教室講師)
平成14.10.1付
柳原克行(教養部人文社会教室講師)

[委託]

- 大学院客員教授
飯田康夫
(任期:平成14.10.1~平成15.3.31)

[役職退任]

- 平成14.10.4付
教務部長 日置義明

[役職就任]

- 教務部長 水野義雄
(任期:平成14.10.7~平成15.9.30)

訂正とお詫び

No.41、P.7国際交流「オレゴン州立大学 Deanna Hochstein 氏」は、University of Oregon (州立オレゴン大学)のAIEの所長さんです。訂正してお詫び致します。

編集後記

気象庁は、エルニーニョ現象が発生するなど、この冬は暖冬と予想。「今秋の冷え込みは、一時的な現象」。季節外れの冷え込みは、大陸から南下した寒気の影響とのことで、滝春キャンパスの“けやき”も例年より一足早く紅葉を迎えた。紅葉見物は行きはよいよい、帰りはづらい。それなら大学のキャンパスで紅葉見物。今はすでに落葉しているって。“さむー”

社会交流センター
E-mail: pccir@daido-it.ac.jp
大同工業大学ホームページ
<http://www.daido-it.ac.jp/>